

東約朝米核化非

米、北朝鮮の安全保証

【シンガポール共同】トランプ米大統領と北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長は12日、シンガポール南部セントーサ島のカペラホテルで会談した。米朝首脳会談は史上初。両首脳は会談後「シンガポール共同声明」に署名した。複数のメディアによる



合意文書を交換し、握手する北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長（左）とトランプ米大統領

12日、シンガポール（AP共同）

と、正恩氏は共同声明で、4月末の南北首脳会談での板门店宣言を再確認し「朝鮮半島の完全非核化」を約束、トランプ氏は北朝鮮の安全を保証すると確約した。

トランプ氏は北朝鮮の非核化プロセスを迅速に始めると強調し、正恩氏をワシントンのホワイトハウスに招待する意向を示した。両首脳は会談で、米朝関係改善に意欲を示した。朝鮮半島に残る冷戦構造の終焉しゅうえんにつながる可能性があり、北東アジアの国際環境は重大な転換点を迎えた。トランプ氏は正恩氏と「特別な絆を築いた」ともアピールした。

トランプ氏は12日午後4時（日本時間同5時）の記者会見で共同声明を説明。会談で日本人拉致問題を提起したと明らかにし、北朝鮮側と「今後取り組んでいく」と述べた。